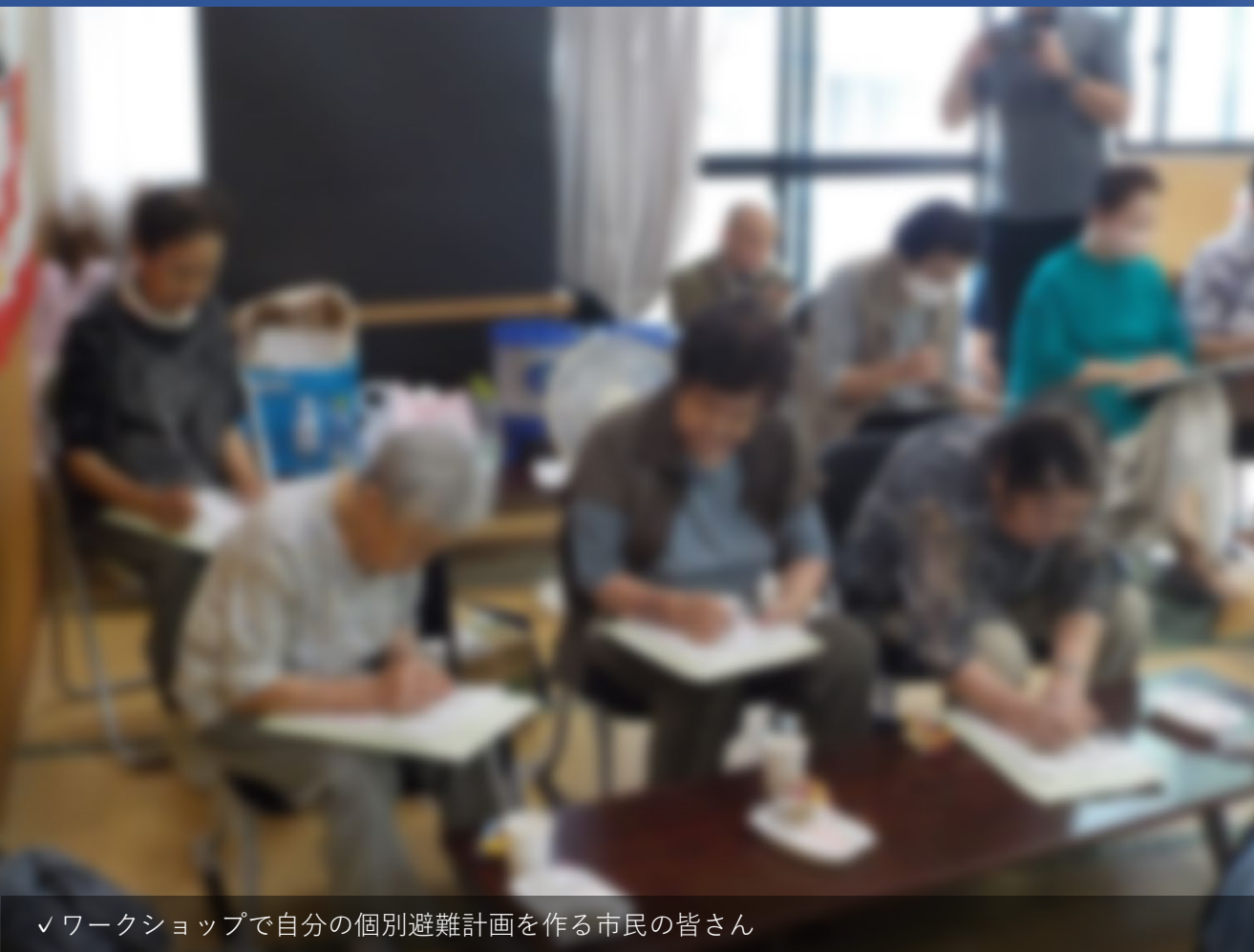




✓ワークショップで自分の個別避難計画を作る市民の皆さん

令和6年度

第4回 都道府県個別避難計画

推進会議

秋田県総合防災課
男鹿市福祉課

【秋田県】社協連携型個別避難計画モデル事業

秋田県と男鹿市の概要

	秋田県	男鹿市
人口	90万2,060人	2万2,561人
高齢化率	39.4%	51.8%
避難行動要支援者名簿登載者数	64,408人	1,313人

※R6年4月1日現在



取組の経緯

- ・ 本県に甚大な被害をもたらした令和 5 年大雨災害や令和 6 年能登半島地震 において、避難行動要支援者に対する避難支援の重要性が浮き彫りとなった。
- ・ 個別避難計画の作成については、ノウハウや人材の不足により着手することが難しい市町村もある。
- ・ 県においては、令和 6 年能登半島地震を教訓に、男鹿半島地域等において同様の地震が発生した場合の防災・減災方針を検討しており、要配慮者避難を重点方針に掲げている。



個別避難計画作成モデル事業を活用



✓ 逃げ遅れてボートで救助される住民も
(令和 5 年大雨災害、男鹿市比詰地区)

秋田県男鹿半島地域等防災・減災会議について

目的 令和6年能登半島地震を教訓に、男鹿半島地域等において地震が発生した際の防災・減災方針を策定する

構成と開催状況（予定含む）

【方針の策定】

秋田県男鹿半島地域等防災・減災会議

（知事、関係市長、有識者、関係機関等）

令和6年10月：検討状況報告及び意見交換

令和7年2月：防災・減災方針（案）の協議、策定

【課題の抽出と対応等の検討】

秋田県男鹿半島地域等防災・減災対策検討委員会

（有識者、自治体及び関係機関の実務担当者等）

令和6年4月：能登半島地震に課題、検討内容（案）等

7月：リスク設定、今後の進め方（案）、意見交換等

12月：応急対策及び被災者支援の検討結果、意見交換等

令和7年1月：防災・減災方針（素案）の協議

リスク検討部会

令和6年6月

・リスク設定に係る
意見交換等

応急対策検討部会

令和6年9月／11月

・応急対策に係る意見
交換等

被災者支援検討部会

令和6年8月／10月

・被災者支援に係る
意見交換等

主なリスクと対応方針

○直接的な被害による人的被害

・住家等の耐震化の促進

・要配慮者の避難のあり方の検討等

○在宅避難者・車中泊避難者の把握困難

・ICTを活用した避難所の受付システム等の検討

・車中泊避難者の避難場所の設定に向けた検討等

○孤立集落の発生／孤立集落、自主避難所の把握困難

・孤立を想定した通信手段の確保、備蓄の検討等

○良好な避難所環境の確保

・快適なトイレ、温かい食事、睡眠環境を意識した
避難所運営の検討等

○物資の不足

・分散備蓄の推進、防災備蓄コンテナの設置やドローン、
ヘリコプター、船舶の活用等の検討

・速やかな配送に備えた協定・委託等、物流事業者の
活用の検討等

○応援機関の救助活動等の遅延

・被災地及び近隣における応援機関等の活動拠点、
宿泊場所の確保等

男鹿市における当初の課題

これまでは、旧制度の様式「個別支援計画」を改変せず使用。いかにも役所の文書的で、項目が多く記入が大変だという声も。内容の不備や情報の未更新など、実効性に乏しいものであった。

旧様式「個別支援計画」

[illegible]

3号様式 (表)

お申し込みの の期間	
進行する 区画番号	
毎回の区画で の区画番号	
建設期間 の区画番号	
建設完了の 区画番号	
区画番号	

① 是は、所定市災害時要援護者登録支援プランに基づく避難行動要援護者登録
 制度の適用に賛同し、同制度に登録することを希望します。また、表が抜け出
 した上記の個人情報を避難要援護者に提供することに同意します。

代表申請者の場合、代表人および以下に署名・押印してください。		
代表人氏名	②	印 影 子 照 像
住所・TEL	TEL () - () - ()	



事業の概要

- ✓ 行政（県、男鹿市）と男鹿市社会福祉協議会が連携して個別避難計画の作成支援体制を構築し、多様なアプローチにより地域の実情に即した実効性の高い計画作成を支援。
- ✓ 市社協の人材育成とノウハウの蓄積、個別避難計画作成の加速化を目指す。

目標

- ✓ 100名分の計画作成
- ✓ 市社協との体制整備、人材育成



【秋田県】社協連携型個別避難計画モデル事業

取組のポイント① 計画様式の再構築

作成(更新)日 令和 年 月 日

私のひなん計画

ひなんする人

ひなんする人	氏名	住所	生年月日	年齢	性別
ひなんする人	氏名	住所	生年月日	年齢	性別
ひなんする人	氏名	住所	生年月日	年齢	性別

ひとりですべて出られますか？ ☐ 出られる ☐ 出られない

ひなんの支援者

ひなんの支援者	氏名	住所	電話番号	ひなんしているかの確認
ひなんの支援者	氏名	住所	電話番号	ひなんしているかの確認
ひなんの支援者	氏名	住所	電話番号	ひなんしているかの確認

ひなん先・ひなん経路・現地確認日

ひなん先	ひなん経路	現地確認日
		令和 年 月 日

男鹿市

- ✓ シンプルで書き込みやすく、親しみやすくなるよう工夫



- ✓ ハザードマップは市公式サイトから誰でもアクセス可能なもの

計画情報とマップ
（視覚情報）を組み
合わせ実効性を向上

取組のポイント② 広報

市広報誌に特集を掲載。合わせて計画作成支援リーフレットを折り込み全戸配布

✓ 広報記事では個別避難計画の必要性や地域のつながり作りの重要性を強調

✓ A3二つ折りのリーフレットは計画様式を切り取って使うことができ、住民主体による計画作成を支援

実施内容① 民生委員に対する説明会

社協担当者とともに、9つある地区民生児童委員協議会に出席。約100名の民生委員に対し、個別避難計画の取組への協力依頼。



✓ A1サイズに拡大した説明用パネル

実施内容② 「ひなんさんぽの会」

ワークショップと避難訓練を合わせた「ひなんさんぽの会」を3度開催。避難所までの経路を散歩感覚で確認したほか、災害対策の重要性を周知。



✓ 鍵屋教授が参画



✓ 下り坂では車イスを後ろ向きに移動させることが基本

【災害時の個別避難計画策定へ】 住民同士のつながりが大切！

災害時における個別避難計画の策定を推進するため、7月29日、船川の金川台地区で市民を対象としたワークショップを開催しました。

ワークショップは、自宅から金川台街区公園（指定緊急避難所）までの経路を散歩しながら確認する「ひなんさんぽ」、そして跡見学園女子大の鍵屋教授による「自分や家族の避難計画」に関する講話の二部構成で行われました。

参加した市民らは計56名で、ワークショップを通して住民同士のつながりや、防災意識の向上に努めていました。



▲ひなんさんぽの様子



▲講話の様子

✓ 「町内会でも課題意識を持っていた。
有意義な研修会になった」（町内会長）

実施内容③ 総合防災訓練との連携

作成した個別避難計画の有効性を検証することでより実践的な計画に。5月と2月の2度、訓練実施に合わせ参加。



✓ 避難支援者らとともに避難所に到着した後は、炊き出しのとん汁を試食

✓ 本市で初めての冬季に行われた訓練と連携。雪道でのシルバーカーは困難を極め、途中から車で避難所まで送迎。

成果・課題



成果：計画作成数 **133** 件（目標100件）

※R 7 年 2 月末時点

成果を得られた理由：

- ✓ 民生児童委員の精力的な活動
- ✓ 防災啓発の下地

課題：

- ✓ 取組の地域差・温度差
- ✓ 拒否者や高齢者以外の対象者への波及

今後の方針

来年度以降は

- ✓ 事業を社協委託し新たな視点での取組を期待
- ✓ 福祉避難所など福祉防災分野の包括的な取組
- ✓ デジタル化の検証 etc.



Ⅲ 令和7年度当初予算のトピックス

(新規・拡充事業を中心に)

1 半島防災の強化			119,308千円
(1) 防災力の強化			53,423千円
事業番号	事業名	事業費(千円)	
3-18	(1)消防施設整備事業 ▼小型動力ポンプ(2台)、ポンプ付積載車(1台)、 背負い式水のう(70個) ▼防災行政無線(入道崎灯台)の移設	24,253	
3-13	(2)災害時情報伝達手段整備事業 ▼孤立可能性の高い12地区への衛星無線機の配備(18台) ▼スターリンクの導入	11,009	
3-14	(3)災害監視用河川カメラ・水位センサー整備事業 ▼比治川、保置川、鮎川に設置	6,252	
3-12	(4)秋田県次期総合防災情報システム整備事業 ▼防災行政通信システムと防災情報共有システムを併せた 新たな通信システムを県と共同で整備	11,909	
(2) 被災者支援の充実			65,885千円
事業番号	事業名	事業費(千円)	
3-15	(1)半島防災避難所環境整備事業 ▼トイレカー(洋式トイレ5室) ▼キッチン資機材、テント、資機材積載車	44,800	
3-16	(2)災害用備蓄物資整備事業 ▼孤立可能性の高い12地区への食料品、テント、浄水器等の備蓄 ▼段ボールベッド・ポータブル電源・ソーラーパネルの整備	19,255	
4-01	(3)福祉防災・減災対策事業 ▼福祉避難所開設・運営訓練、ワークショップ開催、 障害者(児)等の個別避難計画作成	1,830	

- ✓ 個別避難計画を重点事業に

おわりに



避難支援を通じた地域づくりを

